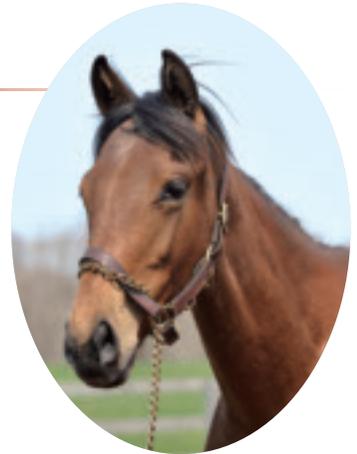


父 マツリダゴッホ  
メス 鹿毛 2012年4月6日生まれ コスモヴェューファーム



### 母の父

**\*ボストンハーバー**  
米国産, 米2歳牡馬チャンピオン, 米6勝, BCジュベナイル-G1 (8.5F), プリーダース フェューチュリティ-G2 (8.5F), パシュフォード マナー-S-G3 (6F)。主な産駒 ヘルシー アディクション (サンタ マルガリータ招待 H-G1), マイ ボストン ギャル (ゴールドエン ロッドS-G2), \*ダイワバンディット (新潟2歳 S-JPN3), \*ワンダフルデイズ (クリスタルC-JPN3), イクスキューズ(クイーンC-JPN3)

### 母系

母**イクスキューズ**は3勝, クイーンC-JPN3 (芝1600m), クローバー賞-OP (芝1500m, 2歳レコード), ファンタジーS-JPN3 2着, クイーンS-JPN3 2着, フローラS-JPN2 3着, 札幌2歳S-JPN3 3着, ラジオNIKKKI賞-JPN3 3着, 菜の花賞-OP 3着, ニューイヤース-OP 3着, 桜花賞-JPN1 5着, 阪神ジュベナイルフィリーズ-JPN1 5着。本馬は第3仔

祖母**\*クリスティキャット** Christiecat は米国産, 米11勝, フラワーボウルH-G1, 同3着, ダイアナH-G2, ヴァインランドH-G3, ボウゲイH-G3, 同3着, ノーブルダムゼルS-G3, Spicy Living H, Cardinal H, クイーン エリザベス二世チャレンジC-G2 2着, バックラム オークH-G3 2着, スワニー リヴァーH-G3 2着。産駒 ハバネロキャット: 2勝  
トーセンボセイドン: 1勝

曾祖母**トール ブース** Toll Booth は米3勝。産駒  
**ブラグド ニクル** Plugged Nickle: 米チャンピオンプリンター, 米11勝, フロリダダービー-G1, ウッドメモリアルS-G1, ローレルフェューチュリティ-G1, ヴォスバーグS-G1, レムスンS-G2, スタイヴァザントH-G3。種牡馬  
**キー トゥ ザブリッジ** Key to the Bridge: 米7勝, ボウゲイH-G3, Hialeah Breeders' Cup H, ニューヨークH-G2 3着。**アイルファクスユー** Islefaxyou (競馬博物館名譽の殿堂S-G2)の母  
**トークンズ オンリー** Tokens Only: 米4勝, Starlight S。**トークンダンス** Token Dance (ブライアリスS-G2)の母  
**トールフィー** Toll Fee: 米7勝, Weber City Miss S, レアパーフェウムS-G2 2着。**リスカヴァース** Riskaverse (フラワーボウル招待S-G1・2回), **ハヴルドグレイス** Havre de Grace (ウッドウォードS-G1), **コジーコーナー** Cozy Corner (ヴァリーヴューS-G3), **テイスティヴィル** Tasteyville (スポーツペイジH-G3), **ブーケブース** Bouquet Booth (デルタダウンスプリンセスS-G3)の祖母

マツリダゴッホ  
鹿毛 2003年

イクスキューズの12  
メス 鹿毛 2012.4.6

イクスキューズ  
鹿毛 2004年

*サンデーサイレンス Sunday Silence (USA) 青鹿毛 1986年	ヘイロー Halo	Hail to Reason Cosmah
*ペーパーレイン Paper Rain (USA) 栗毛 1991年	ウィッシングウェル Wishing Well	Understanding Mountain Flower
*ボストンハーバー Boston Harbor (USA) 鹿毛 1994年	ベルボライド Bel Bolide	Bold Bidder Lady Graustark
*クリスティキャット Christiecat (USA) 鹿毛 1987年	*フローラルマジック Floral Magic	Affirmed Rare Lady
	カボウティ Capote	Seattle Slew Too Bald
	ハーバー スプリングス Harbor Springs	Vice Regent Tinnitus
	マジェスティック ライト Majestic Light	Majestic Prince Irradiate
	トール ブース Toll Booth	Buckpasser Missy Baba

5代までにクロスなし

### CHECK POINT

母は、岡田繁幸氏が冠名なしで名前を付けるほど惚れ込んだ馬で重賞戦線でもよく活躍してくれました。ウオッカとダイワスカレットというビッグな2頭と同世代ですが、桜花賞では5着と十分健闘したと思います。本馬は踏み込みにも力強さを感じられます。一度追えば、父のようなダイナミックなフォームで異次元の差し脚を見せてくれると思います。母以上の活躍を期待したくなるほど、楽しみな1頭です。

